



米Church & Dwight、グラフィコ<4930>をTOBで子会社化



米日用品会社のChurch & Dwight Co., Inc.（ニュージャージー州）は28日、グラフィコにTOB（株式公開買い付け）を実施すると発表した。普通株式すべてと新株予約権を取得し、グラフィコの非公開化を目指す。買付代金は約38億円。グラフィコは賛同の意見を表明し、株主に応募を推奨している。

TOBは米Church & Dwightが100%出資で設立した買収目的会社のChurch & Dwight Japan（東京都千代田区）が実施する。買付価格は1株当たり3800円で、公表前営業日での終値2764円に対して37.48%のプレミアムとなる。このほか新株予約権についても、2250円から6万2840円で買い付ける。買付予定数は100万778株で、下限は所有割合66.67%にあたる66万7200株。応募が下限に満たない場合は買い付けしない。

グラフィコの長谷川純代代表取締役社長CEOは所有する39.06%の株式すべてをTOBに応募することで合意している。買付期間は4月下旬からの30営業日とする予定。公開買付代理人は野村証券。

グラフィコは1994年に化粧品や健康食品の商品企画・販売促進などを目的に創業し、1996年に前身のスタジオグラフィコとして設立。2013年に現在の社名に変更し、2020年に東証ジャスダック市場に上場（2022年4月に東証スタンダード市場に移行）。